

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	鈴岡城址公園整備事業	会計	一般会計	事業No.	597	施策順No.	62-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-5-12-5		
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			課等名	土木課		
施策	62 地域資源の資産化		事業期間	開始	15	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民整備区域						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	市民数:人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	史跡を公有地化することにより保存し後世に伝えると共に、市民の憩いの場として整備する							
	対象をどう変えるか	公園区域の公有化した面積率(%) (買収済面積46,530㎡/買収予定面積 46,530㎡) (諏訪社・市有地・駄科区有地等15,812㎡を除く)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		H18:13,855㎡,H19:7,064㎡,H20:18,354㎡H21:7,257㎡計46,530㎡	44.8	84.2	99.7	100	100		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	地元との協議を十分に行い、公園整備を完成することができた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年の開園100周年を目標に、長野県史跡を活かした公園として整備を行う。 長野県史跡を公有化することで保護し、地域の歴史を活かした特色ある公園とし、公園の歴史などを学べる展示施設を園内に設置する。 公園整備計画により、平成22年度末までに公園区域内の史跡指定民有地の公有地化及び、公園整備を行う。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 管理棟・四阿建設工事 2 舗装工事 3 遊具・ベンチ設置工事 4 植栽工 5 案内看板設置工事	1 管理棟・四阿建設工事 2 舗装工事 3 遊具・ベンチ設置工事 4 植栽工 5 案内看板設置工事	1 1棟 2 1式 3 1式 4 1式 5 1式
23年度実施計画	なし		

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項	(地)合併特例(充当率95%)
	起債	51,600	51,600				
一般財源	2,800	2,790					
計(A)	54,400	54,390	0				
正規職員所要時間			1,200				
臨時職員等所要時間							
人件費計(B)			4,291				
トータルコスト A+B			58,681				

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の策定を受けて、竜丘地区自治協議会から市長宛に要望書が提出された。 年に2回開催している市と竜丘地区との連絡協議会では早期整備を要望されている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	評価が顕在化され高まる。	施策の成果指標又はムツ指標	活用できる状態の整った地域資産の数(累計㎡)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	長野県史跡を公有化することで保護し、地域の歴史を活かした特色ある公園とし、公園の歴史などを学べる展示施設を園内に設置した。 平成23年の開園100周年を目標に、長野県史跡を活かした公園として整備を行った。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	地元の整備小委員会との協議を十分に行い公園整備を行った。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	園内の階段整備は既設コンクリート材を再利用し、盛土材は松川リフレッシュを使用しコスト削減を図った		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が管理する公園であり、不特定多数の利用のため受益者負担は求めない。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	主体は地元と市が共存し、整備小委員会との協議を十分に行い公園整備を行った。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	長野県史跡を活かし、地元の要望を取り入れた公園が完成した。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------